

11 がっひかりごう

令和元年11月1日 輝保育園

朝晩のひんやりとした空気に秋の深まりを感じられます。運動会をやり遂げ、様々な経験をした子ども達は、一人ひとりが自信を持ち、一回り大きくなったようです。自信がついた子ども達は、これから更に、多くの事に挑戦し、意欲的な姿をみせてくれる事でしょう。今月は、自然物の変化に興味を持てるよう、遠足や散歩を計画しています。新しい発見を楽しみにしています。

【お礼】

過日の運動会では、沢山のご家族にご観覧、ご参加、ご協力頂きありがとうございました。

強風でしたが、全てのプログラムを無事終える事ができました。

ご家族の声援や励ましが、子ども達の自信や意欲へと繋がりました。



== ナース・レポート ==

【こども医療でん相談
《#8000事業》とは】

保護者の方が、休日・夜間のこどもの症状にどのように対処したら良いのか、病院を受診した方がよいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師に電話で相談できるものです。

この事業は全国統一の短縮番号 #8000 をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口へ自動転送され、お子さんの症状に応じた適切な対処の仕方を受診する病院等のアドバイスを受けられます。

受付時間は各都道府県によって異なります。

福岡県は平日 19時～翌朝7時

土曜は 12時～翌朝7時

日・祝日は 7時～翌朝7時

となっています。

冷え込みが厳しくなり、咳や鼻水の症状を見受けられる子どもも多くなりました。

早期受診を心掛け、休日や夜間に慌てなくてもいいように、日々の健康管理にも注意しましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 就学前幼児の家庭教育 ☆☆

入学前に身に付けておきたいこと

1. 基本的な生活習慣

就学前の幼児や小学校低学年児童が十分な睡眠時間をとるためには、午後9時までに眠る必要があります。

そのために親は、子どもの睡眠時間の管理を行うとともに、習慣づくりを図ることが必要です。

また、子どもが早く就寝できるよう静かな環境をつくるなど親自身の協力は不可欠です。

さらに、子どもは十分な睡眠時間を確保することで、目覚めがよくなり自分で起きることができます。

すると、朝食をしっかり食べられ、排便の余裕が生まれます。

登校までの時間が十分にあることで、体と心の準備を整えることができます。

基本的な生活習慣づくりは、早寝から始まるのです。

< 基本的な生活習慣に関連して >

- 早くぐっすり眠るためには、外で元気に遊ぶなど、体を動かす活動を行うことが必要です。
- 「自分で着替え、脱いだものをたたむ」ことは、学校でのスムーズな着替えや、自分の持ち物管理につながります。
- 食事の際の「箸の正しい持ち方・使い方」は、他の指先を使う作業にもつながります。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

こどもものようす

たんぽぽぐみ

0才児



ほとんどの子がハイハイから歩行へと移行しました。歩行が確立されると自分の意思で動けるようになり自発的で主体的な探索活動によって、どんどん好奇心が満たされるようになります。「何でも自分でやりたい」と意欲が出てきます。自我の芽生えです。感情表現も豊かになり、喜怒哀楽の他にも照れる、ずねる、悔しいといった様々な感情も育っていきます。言葉で気持ちを伝えることがまだ難しく、うまく意思表示ができず、もどかしさから泣いてしまったりします。気持ちを汲み取ることが難しいのですが、何がしたいのか気持ちを聞き出し、言葉にしてあげると落ち着く事ができます。また、行動を決めてしまわず、選択肢をあたえ、子ども自身が決めることで納得することもあります。自立するまでの成長過程です。やさしく見守っていきましょう。

たんぽぽぐみ

1才児



運動会には、たくさんの方に来ていただきありがとうございました。いつもと違う雰囲気不安を感じてしまう子もいましたが、それぞれに、現在できる精一杯の姿を見せてくれました。運動会後も、「運動会する？」などの声が聞かれ、楽しんでくれたようです。1才児クラスでは、どの子も自己主張をしっかりとするように、「イヤ」、「ダメ」などの声がよく聞こえてくるようになりました。その子の、これはしたくない。今はイヤだ。という気持ちはしっかりと受け止めつつ、物事の善悪、出来ること、出来ないことは繰り返し伝えるようにしています。良いこと、悪いことの判断基準が違うと、子どもが混乱してしまいます。家庭内で話し合ったり、家庭と園で話し合ったりしながら、統一した対応が出来るようにしていきましょう。

すみれぐみ

2才児



運動会は、温かい応援ありがとうございました。今年は、成功体験を積み重ね、「楽しかったね」をテーマに取り組みました。恥ずかしい気持ちや、緊張など色々な思いを抱えながらも、家族の方に見てもらうことを楽しみに、練習も頑張りました。当日は、いつもと違う雰囲気の中、泣いてしまう子もいましたが、お父さん、お母さんたちの姿を見つけると笑顔に変わり、大喜びの子どもたちでした。お遊戯、かけっこ短い時間でしたが、子ども達の頑張る姿に、成長を感じてもらえたのではないかと思います。先月もお伝えしましたが、スプーンの三点支持を頑張っています。しかし、なかなか定着しません。「上手に持てたね」と誉められると、喜びが自信となり、様々なことへの「やってみよう」という意欲にもつながります。ご家庭でも声掛けをお願いします。

ちゅうりっぷぐみ

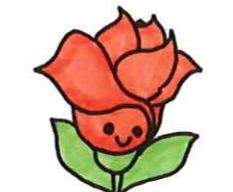
3才児



運動会では、温かい応援ありがとうございました。幼児クラスの仲間入りをし、笛の合図やかけ声に合わせて他者と行動を合わせるという経験を重ねてきました。全体練習が始まったばかりの頃は、開会式中に座り込んだり、退場時に駆け足ができず集団から遅れたり幼さが残る姿もありましたが、次第に子ども達の心持ちも「お兄ちゃん、お姉ちゃんらしさ」へと変化していき、決まり事を意識して行動できるようになりました。今回の経験で得た「みんなで活動すると面白い」という思いを土台とし、今後、ルールのある遊びを積極的に活動に取り入れていきます。活動を通し、気持ちのぶつかり合いが予想されますが、相手には自分と違う気持ちがある事を知り、心のコントロール力を身に付けていく事を目標としていきます。

ばらぐみ

4才児



先月は運動会、秋祭りお疲れさまでした。気候が良くなり、外で遊ぶ機会が増えて子どもたちも嬉しそうです。最近は、男女ともに集団で遊ぶ事が増えています。友達を好きな遊びに誘ったり、「Aちゃんと遊びたいから、したい遊びは後でしよう」と気持ちを調整しながら、友達と遊ぶ楽しさを感じています。その中で、「お友達が嫌なこと言った」、「お友達が叩いた」との訴えや、自分の感情をコントロール出来ず、人が傷つくような言葉を使ったりする事があります。この時期、友達との関わりが増えることで、自分の思い通りにならないことや、我慢することもあり、不安や戸惑いを感じながら成長していきます。この事は、「相手の気持ちを知る」、「自分たちで解決する」という力を育む大切な経験です。友達との関わり方を知りながら自律に向けて見守っていきましょう。

ひまわりぐみ

5才児



運動会ではたくさんのご声援をありがとうございました。友だちと力を合わせてやり遂げることができ、達成感を感じることができました。日々の練習では互いに励ましあったり、認め合ったりし、子ども同士の仲間意識がさらに深まり、心が大きく成長しました。自由遊びの時間には友だちを誘い合ったり、よくラグビー、鬼ごっこ、砂遊びなどを行っています。ぶつかり合うこともありますが、自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも聞き入れながら自分たちで解決することができています。また「小さい子が三輪車で遊んでいるからボールで遊ぶのは危ないかな」と考えたり判断したりする姿も見られます。このように友だちと考えたり協力したりして活動する姿を見守っていきましょう。これから寒くなりますが、なるべく薄着で健康に過ごし、強い体をつくっていきましょう。



= 11月の行事予定 =

7日(木) 避難訓練

8日(金) バス遠足
(3、4、5才児)

22日(金) 身体測定、お誕生会